

ISSEI SUZUKI SOLO EXHIBITION

COLORHOLIC

2026.12.05 sat. - 12.13 sun.

gallery-function KHÔRA

約一年ぶりとなる
鈴木一世の個展「COLORHOLIC」
2026 年 12 月 5 日（土）ー 12 月 13 日（日）
護国寺 KHÔRA gallery-function にて開催
新境地となる新作 20 余点を公開

ISSEI SUZUKI

STATEMENT

色数を抑えれば抑えるほど、要素を減らせば減らすほど、筆の置き場は増える。

これまで重ね続けてきた色彩と要素の表現のなかには、私ですら知らなかった世界が広がっていた。新たなキャンバスを前に筆を手にすると、色の表情についての解釈が変わり、要素同士がこれまでにない関係を結び、筆の置き場が無数に現れる。それは禁欲的な余白の追求ではなく、意のままに筆を運ぶ自由だ。

本展のために表現を追求するなかで得たこの感覚は、キャンバスの外に目を向けても失われない。身のまわりでは、かつてないほどの勢いでイメージや言葉が飛び交い、情報は増え続けている。しかし、それが増えれば増えるほど、ひとつひとつの輪郭が曖昧になることもある。だが今回、色や要素を抑えることで見えてきたのは、ものの増減ではなくそれぞれの表情や関係だった。

自らの経験、支えてくれる人々との対話、他者の視点……すべてが表現に加わり、色や要素とともに新たな関係を結んでいく。それぞれをどう受け取り、然るべき置き場をどこに見いだすのか。抑制だけでなく、その逡巡も表現の一部となる。

従来の表現を深めること、新たな表現を求めること。どちらも私には不可欠である。これまで培ってきたものと、これから生まれてくるもの。そのどちらを欠いても筆の置き場はない。私の核心に忠実であり続けるために、自らの造語である〈COLORHOLIC〉を本展のタイトルに据えた。



Color/Black 1, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
530 mm x 410 mm



Color/Pink 1, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
530 mm x 410 mm







Luminous 1, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
900 mm x 300 mm



fusion LIX, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
600 mm x 200 mm



fusion LX, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
400 mm x 200 mm



coast 1, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
530 mm x 410 mm

coast 2, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
530 mm x 410 mm

coast 3, 2026
Oil and Acrylic on Canvas
530 mm x 410 mm

COVER: Record 1, 2026. Oil and Acrylic on Canvas. 910 mm x 727 mm

鈴木一世個展「COLORHOLIC」

会期　2026 年 12 月 5 日(土) - 12 月 13 日(日)

開場時間　12:00-19:00, 無休 (12月5日のみ17:00-21:00)

12月5日(土)、作家本人の在廊のもと、オープニングレセプションを開催いたします。ご参加を希望される方は、QR コードより事前にご登録ください。

会場　KHÔRA gallery-function www.khora.tokyo

住所　東京都文京区目白台3-25-14 SHINO33BLDG.101

電話　03-6451-1568

MAIL info@khora.tokyo

gallery-function KHÔRA



Photo by Ayumu Kosugi

鈴木 一世
ISSEI SUZUKI

2001 年、宮城県仙台市生まれ。ものごころつく以前より形象や色彩、事物の布置への関心とともに必然的に絵筆を手にする。描き続けるなかで意味によって固定される以前の世界へのまなざしを鋭くし、抽象表現に自らの芸術性を見出す。概念化を拒む曲線、概念である直線、日常の背後を前景化する色彩表現により、その作品は言外の領域と定義された現実との閾に立ち上がる。

2018 年、高校在学中に初個展「PRE」を開催。その後、十余の個展を開催し、数多のグループ展、アートフェアに参加。近年は、adidas とのコラボレーション、文化庁主催「MICUSRAT」でのシンポジウムへの登壇など、活動のフィールドを広げている。

SOLO EXHIBITION

2018 「PRE」瀬戸勝ビル（仙台・宮城）
2019 「SYMBOL」瀬戸勝ビル（仙台・宮城）
「BLAIN WASHING」GALLERY b・TOKYO（京橋・東京）
「VEGALTA SENDAI 25th ISSEI SUZUKI EXHIBITION」仙台ユアテックスタジアム（仙台・宮城）
2020 「HASHTAG」GALLARY b TOKYO（京橋・東京）
「BREAK OF DAWN」MDP GALLERY（中目黒・東京）
2021 「SYMPATHY」藤崎（仙台・宮城）
「Diversity」roidworksgallery（湯島・東京）
「Fusion」GALLERY A8T（仙台・宮城）
2022 「LAYER」roidworksgallery（湯島・東京）
「Issei Suzuki Exhibition supported by adidas」銀座 蔦屋書店（銀座・東京）
「Issei Suzuki Exhibition supported by adidas」阪急メンズ大阪 contemporary art gallery（梅田・大阪）
2023 「alive」roidworksgallery（湯島・東京）
「punctuation」銀座 蔦屋書店（銀座・東京）
「oxymorons」GALLERY ROOM・A（浅草・東京）
「2 people and 1 understanding」Artglorieux GALLERY・GINZA SIX 1階ウィンドウ（銀座・東京）
2024 「RESORT」roidworksgallery（東京・湯島）
2025 「REFLECTION」roidworksgallery（東京・湯島）
2026 「LanD(e)ScAPe」藤崎（仙台・宮城）

GROUP EXHIBITION

「AaP 2021」roidworks gallery（湯島・東京） 2021
「One FACE」roidworks gallery（湯島・東京）
「WHITE 8 ROSE」MDP GALLERY（中目黒・東京）
「Art and Pulse 展」GALLERY A8T（仙台・宮城）
「ブレイク前夜展 in 仙台」GALLERY A8T（仙台・宮城）
「AaP 2022」roidworksgallery（湯島・東京） 2022
「One FACE 2022」roidworksgallery（湯島・東京）
「Young Art TOHOKU」GALLERY A8T（仙台・宮城）
「Art and Pulse Japanese Contemporary Art Group Exhibition」333 gallery（台北）
「Japanese Contemporary Art」GALLERY A8T（仙台・宮城） 2023
「現代芸術家たちの表現展」土のミュージアム SHIDO（淡路島・兵庫）
「AaP 2023」roidworks gallery（湯島・東京）
「ART SESSION by 銀座 蔦屋書店」銀座・蔦屋書店（銀座・東京）
銀座 蔦屋書店５周年「 GINZA 5th ART SELECTION」OIL by 美術手帖（WEB）
「One FACE 2023」roidworksgallery（湯島・東京）
「Art and Pulse in Osaka」阪急メンズ梅田 Contemporary Art Gallery（梅田・大阪）
「AaP 2024」roidworksgallery（湯島・東京 ） 2024
「One Face 2024」roidworksgalley（湯島・東京 ）
「PEOPLE MATTER」（マカオ） 2025
「AaP2025」roidworksgallry（湯島・東京）
「DETACHMENT」N&A アートサイト（上目黒・東京）
「ART FUJISAKI COLLECTION」藤崎（仙台・宮城）
「One Face 2025」roidworksgallery（湯島・東京）
「Aap2026」roidworksgallery（湯島・東京） 2026
「POP UP EXHIBITION」ARGOS x Aap/roidworksgallery（原宿・東京）

ART FAIR

2022　「ART OSAKA 2022」AaP/roidworksgallery ブース・大阪市中央公会堂（大阪）
「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2022」AaP/roidworksgallery ブース・福岡国際会議場（福岡）
2023　「Affordable Art Fair」SUOMEI M50 GALLERY ブース・上海展覧中心（上海・中国）
「ART OSAKA 2023」AaP/roidworksgallery ブース・大阪市中央公会堂（大阪）
「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2023」AaP/roidworksgallery ブース・福岡国際会議場（福岡）
「ART COUNCIL 2023」AaP/roidworksgallery ブース・幕張メッセ（千葉）
2024　「ART OOSAKA2024」AaP/roidworksgallery ブース・大阪中央公会堂（大阪）
「ART FAIR ASIA FUKUOKA 2024」AaP/roidworksgallery ブース・福岡国際センター（博多・福岡）



© MICUSRAT

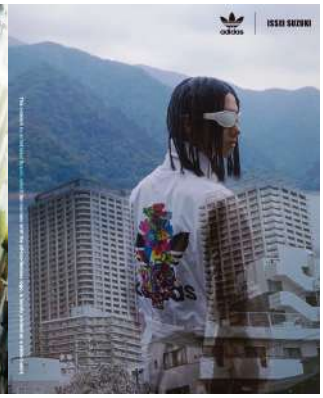


Plant Vineyards



大沼酒造店「乾坤一」





adidas Originals x ISSEI SUZUKI

OTHER WORKS

MONKEY MAJIK の Blaise Plant 醸造によるワインのラベルデザイン担当（2019·2022·2023）
BS フジ「ブレイク前夜〜次世代の芸術家たち〜に出演（2 月 25 日放送）　2020
ARABAKI ROCK FES.2022 グッズコラボ　2022
レザーブランド TIDE とのプロジェクト「ARTIDE」に 5 人のアーチストの 1 人として参加
adidas とのコラボレーショングッズ（T シャツ・スウェット）
文化庁主催による新プロジェクト「MICUSRAT-Love music and art-」国際シンポジウム参加　2023
「MICUSRAT-Love music and art-FUSION/ISSEI SUZUKI・Installation in Maishima」
SUMMER SONIC 2023 大阪で開催、巨大ビジョン・大型立体作品展示
MICHELE&SHIN とのコラボレーションによる新作アート展示　2025
宮城県大沼酒造醸造による日本酒のパッケージ & ラベルのコラボレーション　2026

「僕は概念になりたいんですよ」。ひょんなことから鈴木一世と長話をする機会に恵まれた際に、彼からでた発言でした。いくら抽象を自家薬籠中の物とするアーティストとはいえ、突拍子なさすぎるこの発言の真意はいかに、と日々考えながらも、それについての納得ゆく答えを返せぬまま、彼とマネージメント契約を結び、このたびの個展〈COLORHOLIC〉を開催するに至りました。

なぜ鈴木一世と契約を、と問われれば先の発言に戻らざるを得ません。当初は、このアーティストは神にでもなろうとしているのだろうか、と疑いもしましたが、その後も対話を重ねるなかで、彼の直観、芸術観、作品、キャラクターを識り、もしや鈴木一世は概念化以前の世界を生きているのでは、と思い当たりました。その理解が正しいか否かはさておき、もしそうであればまさかこの男、セザンヌはじめ、モダンアートの先達と同じ境地で世界を眺め、キャンバスに向かっているのでは、と少なからず驚きました。

鈴木一世の作品を目の前にすると、モニター越しにはわからない複雑で豊穣なニュアンスの世界が広がります。その画の内には、彼の筆によってアーカイブされた先達の芸術的智慧が息づいています。野心的でありながらも伝統への敬意を失わない彼の創造性は、KHÔRA のコンセプトと重なりました。

KHÔRA は、書籍、レコードなど、同時代の精神を記録した文化的媒質をみなさまから預かり、アーカイブするための〈コーラ／場〉です。そしてそこから新たな創造を生みだすための準備も進めています。その第一弾が鈴木一世であることは、KHÔRA にとって望外の喜びです。彼がどのような概念になるのか、可能な限り見届けるつもりでありますので、みなさまにもお付き合いいただければ幸いです。



afumi

afumi inc. KHÔRA 事業部
〒 112-0015 東京都文京区目白台 3-25-14 SHINO33BLDG.101
tel: 03-6451-1568, mail: info@khora.tokyo